

平成28年度第6回青梅市行財政改革推進委員会議事概要

1 日 時

平成29年2月22日（水） 午前9時00分から午前11時00分

2 場 所

青梅市役所 議会棟3階 第3委員会室

3 出席者

[出席委員]

榎本晶夫委員	嶋崎雄幸委員	水村美穂子委員
菊池一夫委員	大住修司委員	長澤陽祐委員
浅見定由委員	永井寅一委員	布谷和代委員

[出席青梅市職員]

岩波企画部長以下8名

4 議事概要

- (1) 委員長あいさつ
- (2) 青梅市行財政改革推進プラン【平成30年度～平成34年度】（仮称）に向けた提言について（意見交換）
- (3) その他

5 主な質疑・意見等

○青梅市行財政改革推進プラン【平成30年度～平成34年度】(仮称)に向けた提言について

《意見・提言》

・提言書のたたき台を作成したので、文言の追加や記載内容の整理等を協議したい。また、委員の意見の中で提言書に取り込めていない部分があるため、個別意見として掲げることとする。

【たたき台】

視点1「効果的・効率的な行政システムの推進」について

- ・青梅市立総合病院の入院患者に関して、産婦人科の部屋に他の重病患者が入ることのないように配慮することが必要である。
- ・各医療機関等との現在の連携を十分に図ったうえで、第3次救急医療機関の枠にとらわれず、状況に応じた医療の連絡体制を構築すべきである。
- ・青梅ブランドの商品開発について、「おうめものづくり支援事業」の中の創業支援については10年間で1件も申請がないので、なぜないかを分析したうえで、制度改善を行うことによって活用を図ることが必要である。
- ・非婚化・晩婚化や若年層の市外流失の問題を真剣に考える必要があると思う。
- ・子育てしやすい街づくりとして、保育所等は待機児童ゼロを目標に掲げた方が良いと思う。
- ・行政サービスにおける各種対応処理の標準的な時間を具体的に示した方が良いのではないかな。
- ・青梅市立総合病院の食事について、退院後の家庭生活の見本となるように献立を工夫すべきである。
- ・観光については、大多摩観光連盟との共催事業も考えて良いのではないかな。
- ・青梅駅周辺地区における都市拠点の形成のための集客施設の一つとして、モーターボート競走場外発売場を入れても良いのではないかな。
- ・災害への対応では、各種団体との連携を図りながら災害へのマニュアルづくりをやっていった方が良い。
- ・大型物流倉庫が新たに立地する場合は、建物だけでなく敷地内の道路も含め防火対策を講ずることにより、消防活動に支障がないよう取り組む必要があるのではないかな。
- ・青梅のことを外部にアピールすることが大事だと思う。

視点2「簡素で活力ある組織と人材の育成」について

- ・窓口業務における事務効率の向上などを図るために、職員の研修・評価制度を充実させるべきである。
- ・実力主義に則った人事評価制度に改定するべきである。
- ・青梅市において女性の部長が一人もいないので、女性の活躍を推進するために管理職へ

積極的に登用すべきである。

視点3 「財政基盤の確立」について

・ボートレース多摩川は、入場者数の減少により施設を一部閉鎖しているため、使用面積に応じた施設借上料になるよう施設会社と交渉を進めるべきである。